

静岡の病院

つなごう医療

〈39〉

は「ドナーから提供された角膜がフィットするかなど」が大事で、ゆがみや段差が軽減できる」と説明する。昨年八月にレーザー装置を導入後、十三件の手術を実施。「視力の改善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

は「ドナーから提供された角膜がフィットするかなど」が大事で、ゆがみや段差が軽減できる」と説明する。昨年八月にレーザー装置を導入後、十三件の手術を実施。「視力の改善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

は「ドナーから提供された角膜がフィットするかなど」が大事で、ゆがみや段差が軽減できる」と説明する。昨年八月にレーザー装置を導入後、十三件の手術を実施。「視力の改善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

国内トップレベルの設備

快適な受診へ努力

海谷忠良院長の話 見えにくい程度に感じている患者も少なく済む。海谷忠良院長(左)は「(角膜移植)手術を実施。善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

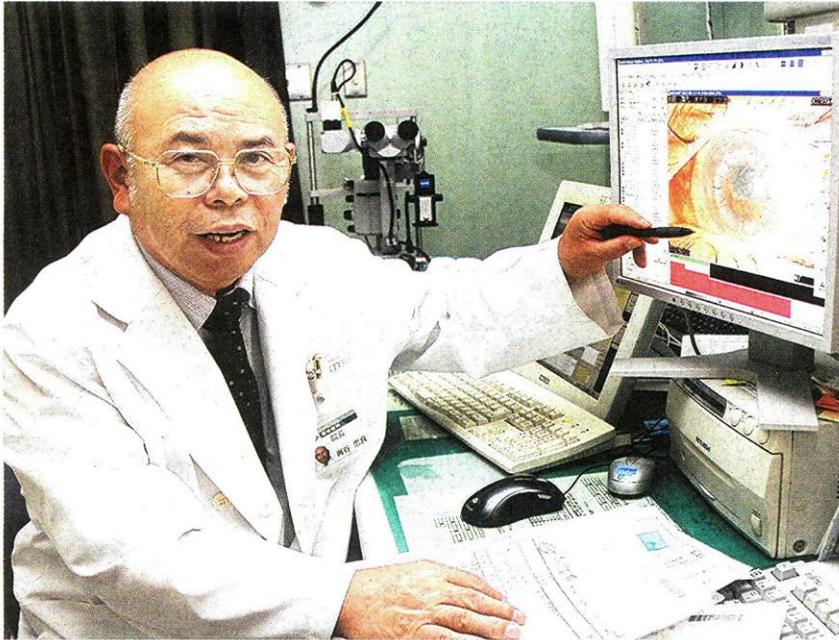
海谷忠良院長の話 見えにくい程度に感じている患者も少なく済む。海谷忠良院長(左)は「(角膜移植)手術を実施。善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

海谷忠良院長の話 見えにくい程度に感じている患者も少なく済む。海谷忠良院長(左)は「(角膜移植)手術を実施。善も早く、移植した角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で

白内障や緑内障、最近増加している加齢黄斑変性症などの手術は年間三千件を超える県西部を代表する眼科専門医院。患者は浜松市近隣に加え、医師の紹介や評判を聞いて全国から訪れる。的確な医療診断と最新の治療機器、充実したスタッフが高い評価を呼び、先進的な企業・団体を表彰する「ハイ・サービス日本300選」(サービ産業生産性協議会主催)にも選ばれた。

角膜の全層移植では、県内で唯一レーザー手術を手掛ける。専用メスで角膜をくりぬいて、ドナーから提供された角膜を縫合する一般的な術式に対し、角膜を正確なサイズで切り出すことができる。切断面もシグザグに切開できて移植片の接合部の強度が増し、縫合数

海谷眼科



角膜の仕組みや移植手術を説明する海谷院長＝浜松市中区助信町で



▽沿革 聖隷浜松病院副院長だった海谷院長が「かけ川海谷眼科」(掛川市中宿)に次いで1998年開院。翌年から県西部地区で初めて近視矯正手術(レーシック)を始める。2001年に2、3階部分を増設。視覚リハビリセンターや医療相談室、眼糖尿病センターを設ける。05年には「みどり台海谷眼科」(浜松市中区和合町)も開業した▽19床▽常勤医5人、非常勤医16人▽浜松市中区助信町▽電053(476)3388